

議
町

長 日程第3「町長の行政報告」に入ります。

長 皆さん、おはようございます。10月に入りまして、さわやかな秋の風を感じる今日この頃でございますが、議員各位の皆様方におかれましては、ますますの御健勝のことと、心からお喜びを申し上げます。

去る10月1日に令和3年第4回松田町議会臨時会の招集告示をいたしましたところ、議員各位におかれましては公私にわたり大変御多様のところ、議員多数の御出席を賜り、ここに本臨時会が開催できましたことを、まずもって御礼を申し上げます。ありがとうございます。本臨時会に先立ち、貴重なお時間を拝借いたしまして、新型コロナウイルス感染症総合対策について御報告させていただきます。

当町におきましては、令和3年4月からの陽性者数は58名となっております。8月は29名、9月は4人となり、感染者数は徐々に落ち着いてきておりますが、年代別の内訳として比較的10代、10代未満の感染が増えている傾向がございます。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種状況についてお知らせいたします。まず、10月3日時点になりますが、最新の数値では65歳以上の対象者3,826人中、1回目接種済みの方は3,529人で、率にしまして92.2%、2回目の接種済みの方は3,482名で91%となっております。12歳から64歳までの対象者6,160人中、1回目接種済みの方は4,664人で、率にして75.7%、2回目の接種済みの方は4,350人で70.6%となっております。対象となる町民全体といたしましては、9,986人中、1回目接種済みの方は8,193人、率にして82%、2回目接種済みの方は7,832人で、78.4%となっております。現在のところ、接種希望者の申込みがかなり落ち着いてきている状況ですので、単発的な希望者を除くと、10月末をもってほぼ終了となる見込みであることを御報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、町民の生活や地域経済等への影響が約1年半以上、今なお続いております。町民の命と暮らし並びに地域経済を守り抜き、未曾有のコロナ災害による危機を克服して、コロナ禍による生活様式の変化に対応した新たな日常を実現し、町民や議会、行政との協働、連

携、協力による持続可能なまちづくりに取り組むため、松田町自治基本条例の理念に基づき、常に町民の目線に立ち、最優先にて町民のための町政運営を進めているところにあります。引き続き新型コロナ対策を最優先かつ最重要課題として、地方創生関連施策をはじめ、国からの補助金等をフルに活用し、生活困窮者等への弱者対策や地域経済並びに高齢者、子育て世代への支援など、これまでの行政では手が届かなかったきめ細かな事業において、町民及び議会議員の皆様にご多大な御支援、御協力をいただき、地域の活力や町民福祉の増進に資する施策を展開してまいりますので、何とぞよろしくお願いを申し上げます。

初めに、9月5日に施行された松田町長選挙におきましては、町民の皆様から三たび信託を受け、9月24日には3期目の初登庁を迎え、改めて初心を大切にいたす思いとなりました。本臨時会につきましては、3期目に入り最初の議会となりますので、今後4年間の町政運営に向けての所信を述べさせていただきますことを御承知願いたく存じます。

このたび町民の皆様方の信託を受け、松田町長として3期目となる町政運営を担わせていただくことになりました。これまでの8年間、町民並びに議員の皆様方には常日頃から町政運営に対し御理解、御協力を賜りましたこと、改めて心から感謝申し上げますとともに、これからの4年間もこれまで同様、御指導、御鞭撻賜りますよう、何とぞよろしくお願いを申し上げます。

さて、松田町においては、私が初就任した当時から様々な課題が存在しており、2期8年の間、解決に向け、短期・中期・長期に分け対策を講じるため、第5次及び第6次総合計画に基づき、各事業の実施準備及び目に見える形で事業を実施してまいりました。松田町の最大の課題は、少子高齢化による人口減少です。松田町は全国的なスピードより約三、四年早めに超高齢化社会を迎え、少子化も重なり、人口減少が慢性的に続いておりました。そのような中、松田町として忘れてはならない発表がありました。それは平成26年5月に民間団体である国立社会保障・人口問題研究所により出された資料により、全国約1,800の市町村のうち約半数に当たる896市町村が消滅可能性都市として名指しされ、県内においても9自治体、そのうち6自治体が県西地域に存在し、松田町も含

まれる発表であります。その発表後、全国的に地方の活性化が不可欠であることから、国全体として地方創生が叫ばれるようになり、我が松田町もその動きに遅れることなく、地方創生の必要な対策を講じるべく、人口減少の抑制を行い、次の世代につなぐためには松田町の魅力を向上させることが肝要であることから、新松田駅周辺整備事業の推進や松田小学校を全国3例目、神奈川県初となる木造3階建て校舎への建替え、町の文化の拠点である旧町民文化センターを複合施設としてリニューアルを行い、また高齢者等福祉タクシー、移動販売、パークゴルフ場の18ホール化、ICTを活用したオンライン学習を県内自治体に先駆けて推進するなど、町の魅力をアップさせる様々な事業に取り組んでまいりました。

それら事業の財源についても、国や県等の補助金を積極的に獲得することで町の財政負担を抑え、知恵と工夫を凝らし、各種事業に取り組んでまいりました。その結果、平成26年に発表された際の平成52年度人口7,055人になる見込みに対し、平成30年推計では約300人増加した7,364人に回復いたしました。当時、当町が策定した地方創生地域再生計画においては、より高い目標人口数値として、約20年後となる2040年度の人口を1万人とする目標を掲げ、達成するために必要な様々な対策として実行してまいりましたことから、現在の人口は、その計画どおりの人口数値を推移しております。引き続き消滅可能性都市から脱却することを念頭に、他自治体に先駆け、SDGsの理念等を組み入れた第6次総合計画に掲げた将来像の「いのち“育み”未来へ“ツナグ”進化“つづける”故郷」を本格的に形にするよう、職員とともに行財政運営に取り組む所存でおります。

9月23日から始まりました私の第3期目の町政運営については、町の発展へ、これまでの確かな歩みを止めない、未来へ向けて継続し、総合計画・アクションプログラムの事業に位置づけている持続可能な開発目標のSDGsの理念「誰一人取り残さない」に沿った基本的・総合的な取組を推進していくため、町民の皆様と一緒に安全・安心したまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

そこで、近未来を見据えたまちづくりに対する新たな考え方として、選挙戦でも公約に掲げてまいりましたチルドレンファーストを旗印として、子供たちが住みたい、子供目線のまちづくりを推進し、その子供たちが子育て世代となったら松田町に戻ってくる。そして、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんと、親子3世代が近くに、また一緒に、笑顔で安心して暮らす町を目指し、その上で少子高齢化による人口減少の抑制に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

2期8年間の確かな歩みが、これから安定した松田町の未来に、さらにつなげていくために、未来につなぐ7つの取組としてセブンフラッグを掲げました。

1つ目に、命と生活を守るため、近年の豪雨による洪水や土砂災害、富士山火山対策の強化並びに土砂災害等による災害者支援金制度の創設などに取り組んでまいります。

2つ目に、福祉全般及び人生100歳時代に向けて、誰もが安心して暮らせるよう、福祉タクシーの充実や移動販売事業の継続、ひとり親家庭や生活困窮者への支援などに取り組んでまいります。

3つ目に、町の魅力アップや定住人口の増加による賑わう松田を目指すため、新松田駅周辺整備事業の強力な推進や、町有地をはじめ民間遊休地の宅地化促進及び宅地化に向けた新設道路整備、安心して子供たちが遊べる公園や広場、遊具の充実などに取り組んでまいります。

4つ目に、安心して子育てができる経済支援などによる安心子育てタウンに向け、小児医療費補助を高校生までの拡充や、第2子の保育料の無償化、給食費保護者負担軽減補助金などの拡充などに取り組みます。

5つ目に、観光や商工農林事業促進に伴う松田の魅力発信として、町商工振興会や農林業従事者との連携強化と事業支援、町が保有する運動・スポーツ施設等を活用したスポーツツーリズムによる新たなお客様の増加などに取り組んでまいります。

6つ目に、教育と生涯学習環境の整備といたしまして、ICT教育、オンライン学習の拡充や町生涯学習センターの多目的利用の推進、松田中学校大規模

改修とグラウンドの芝生化等に取り組んでまいります。

7つ目に、寄エリアがさらに輝くよう、森林環境の保全や有害獣、ヤマビル対策の強化継続、地元民間事業者との連携による地域経済の活性化と雇用の確保、寄みやまグラウンドの芝生化による新たなお客様の増加を図るなどに取り組んでまいります。

これらの具体的な施策を実現するためには、町民との協働、行財政改革、シティプロモーション、官民連携事業の推進の継続が必要となり、SDGsの取組においてグリーンとデジタル化へのシフトチェンジも必要不可欠となりますので、これらの要素を未来指向で最先端のICTやAIを活用し、様々な施策と融合しながらIT、デジタル化推進先進自治体を目指してまいります。松田町にはまだ一部ハードの課題が残っておりますが、これからはソフト両面での課題について重心を傾け、松田町の未来に向けて、全ての町民の皆様が松田町で暮らしてよかったと言っていただけるよう、オール松田で取り組んでまいります。

最後に、未来を見据えた行政運営を推し進めていくためには、「行政は財政」という言葉がありますように、しっかりとした財政運営が必要であります。今後人口減少による税収等が減少することが予測されますので、私は選挙での民意を踏まえ、町民の夢や思いを実現させることだけでなく、新型コロナの影響による新たな日常に伴う暮らしや経済に対する様々な対策や、新しい取組についても強い意志を持って取り組んでまいります。

また、人口のピークであった平成7年に1万3,240人の町民がいたころと同様な町民サービスの提供は難しいものがあり、今後現状を維持するだけでも幾つかの課題や条件をクリアしていく必要もあります。限られた資源にて財源を確保するためには、人口増加施策や遊休地の宅地化、ふるさと納税など収入増加策の強化はもとより、これまでの事業をゼロベースで総点検し、スクラップ・アンド・ビルドを徹底するとともに、選択と集中の考えのもと、メリ張りのある財政運営を進めること、並びに「協働」というキーワードのもと、町民・各種町内団体・企業・議会・行政が協力し合って、一緒に働き、汗をかく

ことが、松田町の未来にとって大切なことであると考えておりますので、これからの4年間、町民並びに議会の皆様方の御理解、御愛顧を賜り、行財政運営に対し、さらなる御支援、御協力をお願い申し上げるとともに、議員各位の御指導、御鞭撻を衷心よりお願い申し上げ、所信を表明させていただきます。

それでは、この臨時会に付議いたしました案件でございますが、議案第41号令和3年度松田町一般会計補正予算（第8号）でございます。新型コロナウイルス感染症に伴う地方創生臨時交付金充当事業や、自然災害により町民の遺族に対する災害弔慰金の支給、平成23年3月に策定いたしました町地域公共連携計画が10年を経過したため、新たな地域公共交通計画として新モビリティサービス事業計画策定経費などを提案するものでございます。

以上提案させていただく各案件につきましては、議事の進行に伴い、私をはじめ副町長、教育長、担当課長より説明を申し上げますので、よろしく御審議の上、御決議賜りますようお願い申し上げます。

以上が私からの行政報告となります。本日もよろしくお願い申し上げます。

議 長 町長の行政報告を終わります。

暫時休憩します。午前9時35分より再開します。 (9時24分)